

令和5年度 普天間第二小学校の取り組み

1 研究主題

積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

～主体的・対話的な深い学び合いのある授業づくりを通して～

2 研究主題設定の理由

本市の英語教育特例校授業計画の実施以来、ALTとのTT形式の取り組みが14年目になる。歌やリズム遊び、読み聞かせ、ゲーム、スキットなどを取り入れて身近な英語を聞いたり話したり表現したりという活動の中で、児童は楽しみながら英語に触れ、慣れ、親しんでいる。

また、国際理解教育とつなげた学習に取り組むことで、異文化に興味・関心が高まってきている。児童からは、「英語は楽しい」「もっと英語を学びたい」「もっと話せるようになりたい」という声が聞かれた。そこで、児童のモチベーションを高めるため、昨年度から引き続き今年度も、英語科においては、テーマを「積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成～主体的・対話的な深い学びのある授業づくりを通して～」とした。英語を使って積極的にコミュニケーションを取る活動を進めるため、英語のリズムとTPR(Total Physical Response ジェスチャー・視線など)等を使った英語のコミュニケーションの仕方を活動の中に取り入れた。この活動は、英語で話す時のリズムや英語を覚えることへの抵抗を少なくすることができ、楽しく英語に親しみ主体的・対話的な深い学びのある授業づくりに取り組んでいる。することで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成につながると考えた。また、外国への興味・関心を高めるため、国際理解教育とからめた活動を通して、本年度の学習の終わりには、「もっと話したい」「もっと世界の人と対話したい」等、主体的に対話したいという児童が増えたと考え、本テーマを設定した。

3 学年・領域

教科として全学年で実施する。

○低学年・・・(英語に触れる・慣れる)英語のリズムに慣れる。体を動かして、伝えたい気持ちを動作として取り入れる。

○中学年・・・(英語に慣れる・親しむ)本のアルファベットからフォニックスの導入とTPRを取り入れた場面設定により、英語の聞き取り、簡単な意思表示ができる。

○高学年・・・(英語に親しむ・使う)フォニックスに慣れ親しみ、簡単な英語を読み、書きとる、特定の場面における伝えあいができる(自己紹介・買い物・道案内等)。

4 各学年の実践

1学年の取り組み

～授業の主な流れ～

①グリーティング・ウォームアップ ②クイズ・めあて確認 ③プラクティス ④アクティビティ ⑤復習・まとめ

授業開始時の①グリーティングでは、今日の気分、天気、曜日、ルールの確認など、ジェスチャーを交えながら英語で行っている。その後、ウォームアップでハロソングを歌いながら、ダンスを踊っている。③プラクティスでは、フラッシュカードを活用して語彙の反復練習を行い、発音と意味の確認を行っている。「形成テスト前の復習」の学習では、Ball Bombゲームで、音楽に合わせてボールを回し、音楽が止まった時にボールを持っていた児童が、名前、気持ち、曜日、天気に関する質問に英語で答える活動を行った。また、ハロウィンやクリスマスなどの行事に合わせた英語に触れ、おはじきゲームやボール回しゲームなどをして楽しむことができた。



クリスマスのゲームを楽しむ

ボール回しゲームで Let's Try!

"It's snowman!!"

2学年の取り組み

タブレットを使用して Colors や Shapes の学習に取り組んだ。「感謝祭」や「クリスマス」などの季節の行事を知り、Thank you card を英語で書いたり、英語を使ってクリスマスツリーの飾りつけを楽しんだ。また、Warm up の時間の英語の歌やダンスを通して、既習内容を復習したり、新しい学習の単語に親しむことができた。



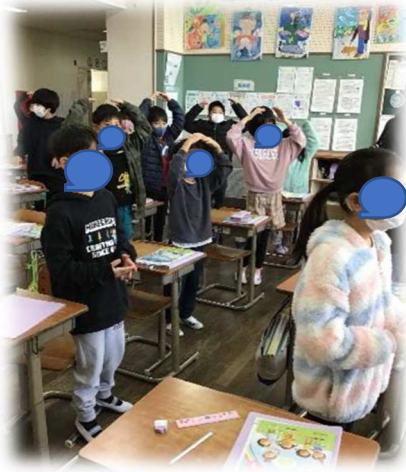
タブレットを活用した学習

英語で Thank you カード作成

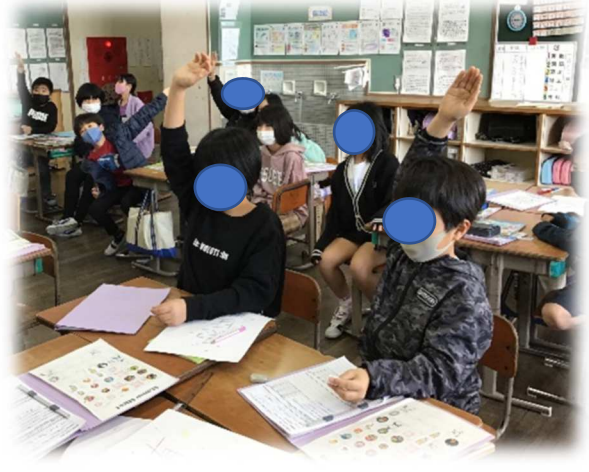
リズムに合わせて英語ダンス

3学年の取り組み

授業のスタートは、クラスリーダーを中心に、あいさつ、曜日、天気の問題や4つの学習ルールを確認している。「This is for you.」の学習では、色や形、欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しみ、選んだカードにメッセージを書き、友達にプレゼントすることができた。「What's this?」の学習では、グループごとにヒントクイズや足あとクイズなどを作り、クイズ大会を行い英語活動を楽しんで行った。



みんなで楽しくチャンツ



元気よく答えました

4学年の取り組み

『This is my favorite place』の学習では、教室や施設の言い方に慣れ親しんだ。Warm upでは、さまざまな方向を英語で表現するために「福笑い」を取り入れ、グループで楽しみながら表現を身に付けた。その後、各教室や施設を英語で言えるように練習し、タブレットを活用した校内の道案内に取り組むことができた。どの单元においても、毎時のめあてに沿ったインタビューやゲーム等を取り入れ段階的に指導することで、児童が意欲的に学習を進めることができた。



福笑いに挑戦する様子



道案内をする様子

5 学年の取り組み

greetingでは、クラスリーダーが、今日の天気・曜日・日時や学習ルールなどを確認した。「This is my dream friend」の学習では、友達になりたい人やキャラクターをロイロノートに書き、みんなの前で発表する活動を行った。何度も繰り返しスピーチや会話の学習に取り組むうちに、スムーズに発表できるようになった。



好きなキャラクター紹介をロイロノートで作っている様子



ICTを活用したスピーチ活動



ICTを活用した振り返り（ロイロ）

6 学年の取り組み

Class leader の号令と Greeting で授業を始めている。

前時の内容や単語の復習から Activity につなげていくことで、児童が意欲的に取り組むことができた。また、毎単元の goal に4文構成の発表シートを活用することで、児童が学習の流れをつかみ、主体的に学習を進めることができた。



Class Leader の号令

ICTを活用した学習の様子

特別支援学級（レインボー）ハロウィンパーティー

特別支援学級10学級（1年生～6年生）での合同学習として、レインボーハロウィンを実施した。授業前半は英語で自己紹介、ハロウィンの由来、ゲーム。授業後半は、各教室を回ってお菓子をもらい、楽しい雰囲気の中で英語に親しむことができた。



英語で自己紹介の様子



Trick or Treat!

6th Grade Lesson Plan

1. 単元 Topic :[Olympics and Paralympics 6/7]
2. めあて Today's Aim :「世界で活躍するスポーツ選手について紹介文を作り、クイズ形式で紹介する」
3. ことば Target Language :
4. 使用教材 Text book : 教科書 page

	活動内容	指導者の活動・支援		準備 備考
		担任の先生の進行	JTE/ALT	
導入 Opening (5分)	<p>1. 《Greeting》 ・クラスリーダー&HRT が初めのあいさつをする。</p> <p>2. 《Warm-up》 ・クイズ例を出題し、発表方法を確認する。 ・発表時に意識（工夫）することを確認する。</p>	<p>先生:Let's start. ・あいさつを促す。</p> <p>先生:Let's practice the Quiz. ・評価内容を説明する。</p>	<p>・あいさつをし、class leader を支援する。</p>	電子黒板

展開 Main (30分)	3. 《Today's goal》 ・ふり返しシートに記入	先生：Let's check today's goal.		Reflecti on sheet (ロイロ)
	めあて：相手にみ力が伝わるよう工夫してアスリートクイズを出し合おう！			
	4. 《Practice》 ・出題練習を行う	先生：Let's practice. ・児童を支援する。	・どのような工夫がで きるか声をかけなが ら練習させる。	Quiz card (ロイロ)
	5. 《Activity》 ・グループになり、それぞれ役割を決め てクイズを出題する ・グループを変え再度クイズを出し合う。	先生：Let's start. 評価をしながら児童を支援す る。	・児童を支援する。	Quiz card (ロイロ)
まとめ Summari ze (5分)	6. 《Reflection》 ・口頭で振り返りを行う。 ・HRT,ALT がそれぞれ良かった点を伝 える。 ・自分の発表動画を見て、自己評価シー トに本時で学んだこと、できたことを記 入する。	先生：That's all for today. ・記入内容を確認する	・That's all for today. ステッカーを配る。	Reflectio n sheet (ロイ ロ)
	7. 《Ending》 ・次回の予告とおわりのあいさつ	先生：Class leaders please. あいさつを促す。		

5 成果と課題

〈成果〉

低学年

○毎時間の Greeting で、挨拶・気分・曜日・天気を繰り返し確認することで、少しずつ答え方が定着してきている。また、毎時間 Hello Song を歌うことにより、学習への意欲や楽しい雰囲気が高まっている。

○一学年の実態に合わせたアクティビティ、季節を感じるができるゲームによって、児童が楽しく英語の授業に参加することができている。

○担任の発音では伝えられない ALT の発音を児童に伝えることができた。

中学年

○毎時、クラスリーダーを中心にあいさつから授業が始まり、天気・曜日・日付・時刻ルールを確認し、授業への

参加意欲や学習雰囲気を高めていくことができた。

○クラスルームティーチャーと ALT のデモンストレーションから既習事項や聞き取れる単語をつないで本時のめあてを導いていくことで、聞き取ろうとする態度が育った。

○ALT の段階的な授業計画により、児童の主体的に課題に向かう姿勢が身につけてきた。

高学年

○ALT・JTEの先生方事前に打ち合わせを行い、計画的に授業を進めることができた。

○ペア・グループワークを取り入れることで、英語を話そうと頑張る子が増えてきた。

○ALTの先生方の指導計画に工夫があり、楽しく学習できた。また、学習の成果にもつながっている。

○視聴覚教材が効果的に使用されていてわかりやすかった。

特別支援学級

○レインボーハロウィンが実施できたので外国語のイベントに親しむことができた。

○ALT が TI となって授業を展開してくれたので、子どものサポートに回ることができ特別支援学級担任としては大変ありがたかった。

〈課題〉

低学年

●個人差があり、一人では答えられない子もいる。

●声に出して発表することに戸惑う児童もいる。

中学年

●毎時、Activity を取り入れ、学んだ事を練習する時間を設けているが、習得に個人差があり、対応が必要である。

高学年：

●英語を人前で話すことに消極的な児童もみられる。

特別支援学級

●1時間の設定だったが、予定よりも一つ一つの活動に時間がかかりカットしたのもあったので2時間の設定にしてもよかった。

6 外部評価

成 果	課 題
○ゲームや映像を取り入れて児童が楽しく活動している。 ○発音やアクセントが習得でき、自分がわかる単語でコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。 ○例文を参考に自力で単語や文を楽しみながら書く姿が見られた。	●ALT が授業計画を立て、授業も中心となって進めてもらっている。 ●英語を話すことに抵抗がある児童への支援が必要。